

令和7年4月24日
荒川水系渇水調整協議会
(事務局:関東地方整備局)

令和7年度第1回荒川水系渇水調整協議会 (春季定例会)の開催結果について

令和7年4月24日に開催した令和7年度第1回荒川水系渇水調整協議会(春季定例会)の開催結果をお知らせいたします。

1. 開催状況

日時 : 令和7年4月24日(木) 10:00~11:00
場所 : Web会議
構成 : 国土交通省関東地方整備局、農林水産省関東農政局、
東京都、埼玉県、独立行政法人水資源機構
目的 : 荒川水系の渇水時における円滑な水需要の調整を図るため

2. 開催結果

別紙のとおり

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ
東京都庁記者クラブ 水資源記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 河川部 電話: 048-601-3151 (代表) FAX: 048-600-1379
河川環境課 課長 藤原 (内線: 3651)
建設専門官 田島 (内線: 3652)
水政課 水政調整官 森岡 (内線: 3515)
課長 井上 (内線: 3551)
課長補佐 菅間 (内線: 3557)

現状と今後の対応

(1) 現状

- 降水量（秋ヶ瀬地点上流域平均）の状況
 - 1月の降水量は18mm（平均値に対する割合 53%）
 - 2月の降水量は7mm（平均値に対する割合 18%）
 - 3月の降水量は131mm（平均値に対する割合 182%）
 - 4月23日0時までの累加降水量は110mm（4月の累加降水量の平均値は95mm）
- 荒川4ダムの貯水状況（4月23日0時現在）
 - 貯水量は同時期の平均貯水量を下回っています。
 - 貯水量 9,365 万 m³、貯水率 65%、平均値に対する割合 96%

(2) 今後の見通し

- 気象庁発表の1ヶ月予報（令和7年4月19日から令和7年5月18日までの天候見通し）によると、降水量は「多い」と「平年並」の確率は合わせて60%となっています。
- 荒川4ダムの貯水量は平均値を下回っており、今後は農業用水の利用が開始されるためダムからの放流量が増え、貯水量が減少する時期になります。更に、降雨状況によっては、ダムの貯水量が急激に減少すること考えられます。

(3) 今後の対応

- 荒川4ダムは、荒川流域の降雨状況、農業用水や都市用水の水利用を十分考慮するとともに、既存施設を広域的かつ効果的に活用し、きめ細かい運用を行っていきます。
- ダム群の貯水量や降水量の状況等の情報提供を引き続き、積極的に行っていきます。
- 荒川水系渇水調整協議会としては、必要に応じ幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していくとともに、取水制限等の調整が必要になった場合には、令和3年12月16日に策定した荒川水系渇水対応タイムラインに基づき関係機関による協議の下、機動的に行っていきます。

荒川ダム群等の現状と今後の見通しについて



滝沢ダムと奥秩父もみじ湖(令和7年4月22日撮影)

令和7年4月24日

関東地方整備局

1. 荒川4ダム等の現状

1) 秋ヶ瀬地点上流域平均降水量の状況（令和7年4月23日0時までの降水量）

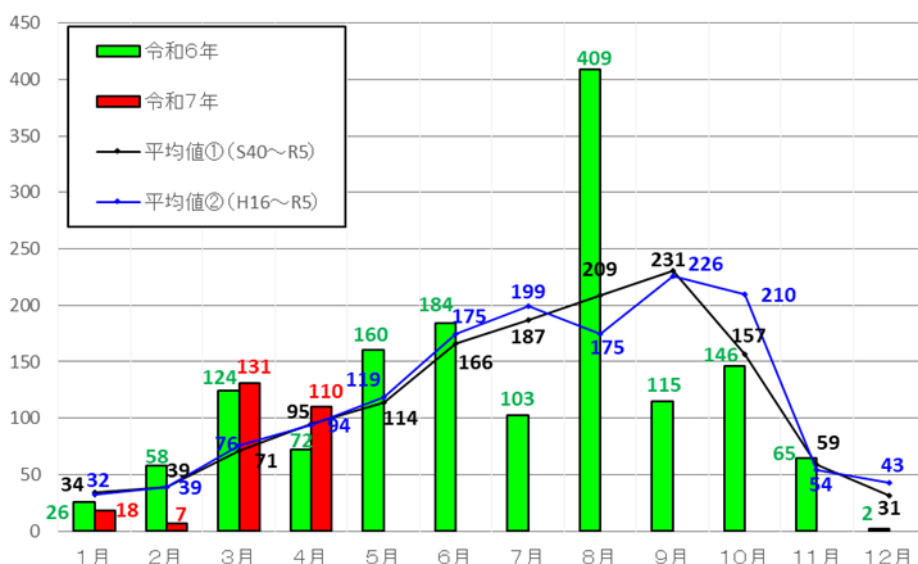
《令和6年》

10月、11月は平年並でしたが、12月は平均値31mm（昭和40年～令和5年の59年間の平均）を大幅に下回る6%（2mm）でした。

《令和7年》

1月、2月も平均値（昭和40年～令和6年の60年間の平均）を大幅に下回りましたが、3月は平均値72mmを大幅に上回る182%（131mm）でした。4月の降水量は、23日0時までの累計で平均値95mmの約116%（110mm）となっています。

（図－1、表－1 参照）



図－1 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（令和7年4月23日0時まで）

表－1 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（令和7年4月23日0時まで）

単位 (mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成26年	8	179	51	51	73	512	125	182	125	286	62	28	1,682
平成27年	41	23	48	84	47	192	281	213	322	26	119	28	1,424
平成28年	75	53	74	72	44	119	90	462	247	31	87	60	1,414
平成29年	24	10	73	67	67	70	218	263	138	488	13	7	1,438
平成30年	27	17	160	53	124	118	200	184	340	44	21	24	1,312
令和元年	10	24	97	58	91	239	225	137	166	725	80	29	1,881
令和2年	95	11	105	186	103	221	304	56	261	209	5	3	1,559
令和3年	36	43	110	60	102	140	288	209	144	117	51	66	1,366
令和4年	7	26	65	162	110	159	278	123	233	109	64	25	1,361
令和5年	6	25	86	39	142	296	47	173	173	67	47	9	1,110
平均値① (S40~R5)	34	39	71	95	114	166	187	209	231	157	59	31	1,393
平均値② (H16~R5)	32	39	76	94	119	175	199	175	226	210	54	43	1,442
令和6年	26	58	124	72	160	184	103	409	115	146	65	2	1,464
平均値①に対する割合 (%)	76%	149%	175%	76%	140%	111%	55%	196%	50%	93%	110%	6%	105%
平均値③ (S40~R6)	34	40	72	95	115	166	186	212	229	157	59	31	1,396
平均値④ (H17~R6)	33	41	79	96	120	178	197	190	224	189	54	40	1,441
令和7年	18	7	131	110									266
平均値③に対する割合 (%)	53%	18%	182%	116%									19%

注) 平均値①、③は各年に対してデータが存在する期間（58ヶ年又は59ヶ年）を平均したもの
平均値②、④は降水量の変化傾向を確認するために直近20ヶ年を平均したもの

2) 荒川4ダムの貯水状況等（令和7年4月23日0時現在）

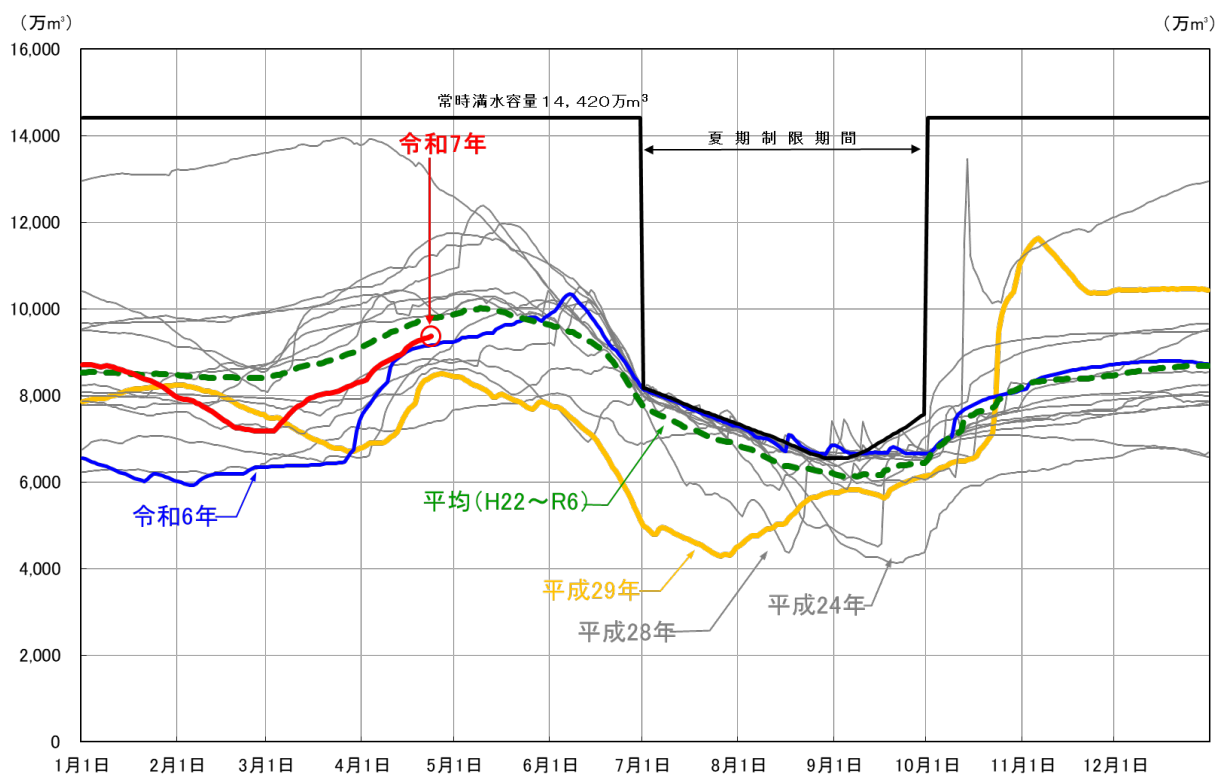
《令和6年》

10月以降、平均値をわずかに上回る水準で推移しました。

《令和7年》

1月中旬までは、平均値をわずかに上回る水準で推移しましたが、1月下旬より昨年12月からの少雨の影響を受け、都市用水を主とした用水確保のための補給によって、貯水量は減少に転じました。3月以降は降雨の影響を受けて貯水量は増加し、4月23日0時時点の合計貯水量は、9,365万m³（貯水率65%）となっています。

（図－2、表－2 参照）



図－2 荒川4ダム貯水量図（令和7年4月23日0時現在）

表－2 荒川4ダム貯水量（令和7年4月23日0時現在）

ダム名	有効容量 (万m ³)	貯水量 (万m ³)	貯水率 (%)
二瀬ダム	2,000	479	24%
滝沢ダム	5,800	3,858	67%
浦山ダム	5,600	4,016	72%
荒川貯水池	1,020	1,012	99%
4ダム合計	14,420	9,365	65%
4ダム合計の平均値 (平成22年～令和6年)		9,793	(平均値に対して96%)

※有効容量は常時満水容量であり、貯水率は常時満水容量に対する貯水量の割合

2. 今後の見通し

(1) 気象予報

令和7年4月17日気象庁発表の関東甲信地方の1か月予報(令和7年4月19日から令和7年5月18日までの見通し)によると、向こう1か月の降水量は「多い」と「平年並」の確率が合わせて60%となっています。

令和7年4月22日気象庁発表の3か月予報(令和7年5月から令和7年7月までの見通し)によると、向こう3か月の降水量は「多い」と「平年並」の確率が合わせて70%となっています。

1 か月予報（令和7年4月17日発表）

気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）				
気温	関東甲信地方	向こう1か月 04/19～05/18		
		1週目 04/19～04/25		
		2週目 04/26～05/02		
		3～4週目 05/03～05/16		
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 04/19～05/18		
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 04/19～05/18		

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

3 か月予報（令和7年4月22日発表）

気温、降水量の各階級の確率（％）				
気温	関東甲信地方	05月～07月		
		05月		
		06月		
		07月		
降水量	関東甲信地方	05月～07月		
		05月		
		06月		
		07月		

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

首都圏の主要な河川と水資源開発施設

